

おかやま山陽高等学校 <進学コース地域探究班>

マコモの飼料化による持続可能な地域社会の実現

<p>概要</p>	<p>酪農家の飼料調達コストを削減するため、イネ科の多年草マコモ(真菰)から飼料を生産販売するプラン。</p>
<p>商品・サービス</p>	<p>マコモの茎葉部(非可食部)を活用した粗飼料の生産販売(1kgあたり60円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県里庄町の特産物「まこもたけ(秋に新芽の根元が肥大したマコモ)」を収穫する過程で廃棄される茎葉部を活用し、牛の粗飼料を生産する。 ・県内有数の酪農地域である笠岡市の小規模酪農家向けに販売。 ・耕作放棄地を水田として利用し、マコモの栽培を目指す。
<p>ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まこもたけの生産は、稲作と比べて、手間がかからず約3倍の収入が見込める。 ・国産かつマコモの廃棄部位の活用と耕作放棄地の活用によって、国際情勢に左右されない一定した安価な飼料を提供できる。



持参したマコモの茎葉を細断



飼料作成風景



飼料サンプル(密閉)



根元にまこもたけ
それ以外は非可食部

まこもたけ



マコモを食べる牛

